

## 開会式・表彰及び閉会式について

JVAが主催する競技会の開会式・表彰・閉会式は下記を基本とする。

また、吹奏楽演奏等を取り入れ、大会を盛り上げることが望ましい。

表彰・閉会式については競技終了後、可能な限り早く（20分～30分後）実施し、観客やチームを長時間待たせないように心がける。（観客、選手には放送等により開始時刻を通告する）

### （1）次第

#### ◇ 開会式

- (1)案内放送
- (2)開式通告
- (3)選手入場
- (4)開会宣言
- (5)旗掲揚（国旗・JVA旗・開催地協会旗等）
- (6)返還・レプリカ授与  
（優勝旗・優勝杯・芳名録等）
- (7)挨拶（代表1～2名）
- (8)選手宣誓
- (9)閉式通告
- (10)選手退場

※ チームは全員が統一された服装で参加すること。

#### ◇ 表彰及び閉会式

- (1)案内放送
- (2)開式通告
- (3)選手入場
- (4)成績発表（大会によっては省略してもよい。）
- (5)表彰（チーム表彰・個人表彰）
- (6)挨拶
- (7)旗降納
- (8)閉会宣言
- (9)閉式通告
- (10)選手退場

※ 入賞したチームは必ず参加すること

※ チームは統一された服装で参加すること。

#### ◇ コート表彰

表彰は都合によってコート表彰を行うことができる。

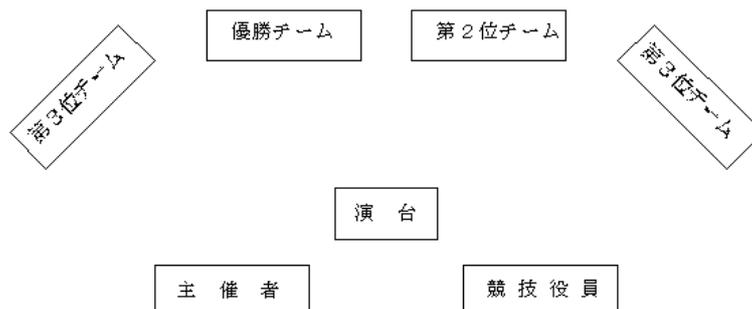
### （2）開閉開式の隊形例

ここでは例として各図を示す。来賓、主催者、競技役員、吹奏楽隊等の配置は下記の例を参考に、開催地及び主催競技団体で協議の上決定し、委員長会議等で周知、確認すること。

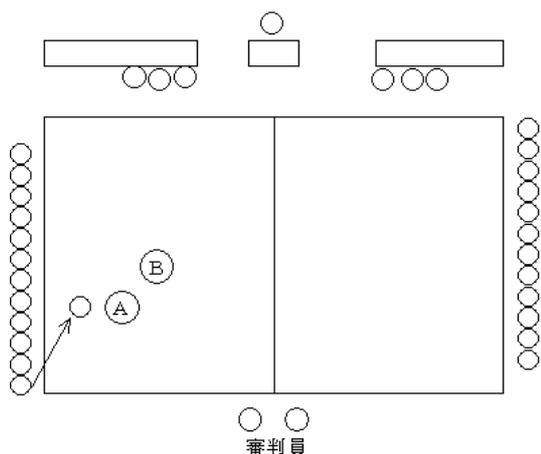
・開会式



・閉会式（4チーム参加の場合）



・コート表彰（例）



- ①試合終了後コート上のメンバーは主審の合図で握手を交わす。
- ②握手終了後、選手全員（ベンチの選手を含む）がエンドライン上に再度整列する。ベンチスタッフ、記録員はその場で起立する。
- ③授与者（A）は先導（B）と共に整列した選手のそばまで行く。
- ④放送により必要な人数の表彰者が授与者のもとに行き、表彰を受ける。このとき表彰を受けないチーム及び役員は拍手で讃える。
- ⑤表彰終了後、主審はチームがベンチに戻るよう吹笛する。

※コート表彰の方法は一例であり、大会毎にアレンジすること。コート上で選手が長い時間待たないように準備すること。

（3）表彰物品と表彰者の確認

- JVAの主催する各大会の表彰の内容は別掲の通りとするが、各開催地は年度当初にJVA事務局及び共催する各団体と、確認・申請の連絡をとる。
- 前年度優勝チームと連絡を取り、優勝旗等返還されるものを必ず持参するよう確認する。
- 開閉開式の出席者の人選を行い、事前に出席の確認をする。
- 挨拶・表彰・選手宣誓を行う人に事前に連絡を取る。
- 表彰の順番や手順の確認を行い、放送等各担当と連携してリハーサルを十分行う。
- 賞状の筆耕を依頼、打合せを行う。

※ 表彰状の表記について

従来「選手権大会」で1位及び2位の表彰状には「第1位」、「第2位」と表記され、「優勝大会」には「優勝」「準優勝」と表記することが習慣的になっていたが、その他の賞品等には大会の名称とは関係なく優勝または準優勝の冠を付けている（優勝旗、優勝トロフィー、優勝盾等）ことから、表彰の際に違和感があることや、高体連や中体連と共催する大会では、表彰状の出所により「第1位」と「優勝」が混在しており、筆耕等に混乱を生じることもあることから、**JVA主催全国大会における表彰状の表記はすべて、「優勝」・「準優勝」に統一することとする。**

ただし、大会規程等により表記が別に定められている場合にはそれに従うこととする。